

令和 4(2022)年度 事業報告書



令和 5 年 5 月 21 日

認定 NPO 法人 芦屋市国際交流協会

新型コロナによる影響が薄れ、講演会、セミナー、コンサート、世界の料理は通常通りに開催できたが、さくらまつりが中止の為、バザーはできなかった。

センター運営について、前年度のワクチン接種会場利用の影響で貸室定期利用者が別施設へ移ったが、2022年1月に201室と202室に壁面全面鏡設置したことで利用が徐々に戻り、2023年3月にはコロナ前の水準に落ち着いた。

1、潮芦屋交流センター施設（貸室、貸コート）運営事業

	2022年度利用実績金額		実利用者数比較		利用率(%)比較	
	(単位:円)	予算比(%)	2022年度	2021年度	2022年度	2021年度
[施設賃貸事業収入合計]	15,618,004	98%	56,937	20,002	68	68
・集会所(1階)	2,569,990	117%	13,285	8,072	50	56
・国際交流センター(2階)	4,071,780	111%	25,257	1,745	36	66
・テニスコート	6,380,640	94%	18,395	10,185	88	85
・付属設備利用料	609,800	105%	-	-	-	-
・駐車場利用料	1,675,500	85%	-	-	-	-
・自販機収入	265,924	106%	-	-	-	-
・一般コピー売上	44,370	222%	-	-	-	-

2、語学・俳句教室事業

1) 英語・英会話・スペイン語・英語絵本朗読・English Reading Salon・俳句教室

「ママも楽しむ親子英語クラブ」を5月に開講、「小学校英語教育勉強会」全10回シリーズを6月に開講、「初級英語クラス」を9月に開講し、全18クラスは通常通り授業を行った。俳句教室は10月から講師を戸田祐一先生に交代した。

	講師名	曜日	場所
英語	戸田 博子	木AM 木PM	大原集会所
	上田 麻鈴	金	
	御園生 寛子	金	
英語絵本朗読	中本 幹子	全12回	潮芦屋交流センター
親子英語	平岡 綾子	隔火	
小学校英語勉強会	中本 幹子	全10回	
英会話	John Dix	木	ラ・モール芦屋 203号
	Stephen Donald	木	
	Mathew Glen Boyd	金	
	John Dix	火	潮芦屋交流センター
		木	
		月	
		金	
Stephen Donald	月		
Mathew Glen Boyd	木		
スペイン語	Marco Vinicio	火	ラ・モール芦屋 203号
俳句教室	石川 多歌司/戸田祐一	水/月1回	

3、姉妹都市交流事業

1) 姉妹都市学生親善使節交換事業の代替事業

3年連続で姉妹都市交流が中止となり、これに代わるプロジェクトとして、8月に「日米元 SA による Zoom 交流」を開催した。芦屋市から7名、モンテベロ市から7名が参加して2021年に作成したアーカイブビデオをベースにコミュニケーションを図った。

2) 60周年記念市民訪問団交流事業

昨年度から一年延期としたが、最終的に春のモンテベロ訪問と秋の芦屋受入れは中止となった。

4、外国人支援事業

1) 日本語教室事業

大人対象の延べ人数は北教室176人、潮芦屋交流センター735人。こども教室の児童数は11名で延べ学習者数は208人であった。

クラス名	曜日	場所
日本語教室(大人対象)	火	ラ・モール芦屋203号
	金	
	月 (AM/PM)	潮芦屋交流センター
	火	
	木	
土		
こどものための日本語教室	土	

2) 外国人のための文化教室

華道教室6回、書道教室10回、茶道教室10回を開催した。

茶道教室は3年ぶりに生田神社の初釜に参加した。また、市内日本語学校

(AISJ) から依頼を受け11月に73名(ネパール54名、ミャンマー10名、中国5名、ベトナム4名)が茶道を体験した。

華道教室講師の中村由美子先生が7月に逝去された為、日本語ボランティア講師でもある河上喜久先生に11月から担って頂いた。

3) 日本語ボランティア講師養成講座

ボランティア講師の待機者が多い為、今年度は不開催とした。

4) 日本語ボランティア講師ブラッシュアップ講座

今年度も2回開催した。1回目は1月に参加者14名で情報交換をして、実りのある内容であった。2回目は1回目の情報交換の内容を受け、2月に外部講

師による講座を開催し参加者は14名。市内の他日本語教室にも呼び掛けたが今年度の参加は無かった。

5) やさしい日本語講座・やさしい日本語勉強会

講座：兵庫県国際交流協会（HIA）からの無料講師派遣事業を利用して2講座、10/21「会話編」（参加者24名）と11/7「教育・学校情報編」（参加者13名）を開催し、両講座とも、参加者からは現場で役立つ内容だったと大変好評であった。外部からはHIAをふくめ4名の参加があった。

勉強会：コスモネット、コスモジャーナルや生活に必要なやさしい日本語の表現についての作成を目的にしたもので、4月、5月、6月に3回を開催して27名の参加があった。

6) 外国人向けの防災イベント・災害時の外国人支援セミナー

芦屋市消防署による消防訓練を日本語教室（大人・こども）の学習者を対象に行い、学習者と日本語ボランティア合わせて22名が参加。

7) コスモネット THE COSMONET

1997年から「広報あしや」を英訳し、印刷、登録外国人への発送等の一連の活動を行っている。これらの作業を担うのはボランティア担当者5名（ネイティブの校正含む）で、毎月約110部を発行、内60部を発送した。長年携わって頂いている2名（村井さん・杉山さん）が兵庫県「草の根功労賞」を受賞。

8) コスモジャーナル

2019年度より隔月に発行する外国人向け情報として「広報あしや」をやさしい日本語と英語に訳し、市内6か所に配架を依頼した。3月末迄で21号を発行した。

9) やさしい日本語での防災関連記事のHP掲載

「広報あしや」に掲載された防災関連の記事を「やさしい日本語」に翻訳し、ACA及びセンターのHPに掲載して外国人向けの防災周知を図った。

10) 文化祭

「夏の文化祭」を7月に開催し、大人44名、子ども6名（内、外国人24名）が参加した。

11) 施設見学（バス旅行）

3月に「カップヌードルミュージアム&いちご収穫体験」を実施して25

名（内、外国人7名）が参加した。

5、神戸大学海事科学研究科への日本語出張講義

前期（5/12～7/7）全8回、後期（10/27～12/22）全8回は、レベルの差やニーズに応じたマンツーマン授業を、一部を除き対面で実施した。

6、作って食べよう世界の料理教室

「インド編」、「イラン編」、「タイ編」、「イギリス編」、「中国編」、「ルーマニア編」、「モロッコ編」、「お正月編」、「パキスタン編」、「メキシコ編」の10回（定員25名/回）を開催し、計211名の参加があった。

7、各種イベント事業の実施

1) 多文化共生講演会

桂かい枝師匠による「やさしい日本語落語」を11月に開催し、83名（内、外国人10名）が参加した。

2) 潮芦屋セミナー

3回開催した。

6月：桂福丸師匠による「英語落語」80名参加。

11月：森道子先生による「パンデミックと文学」45名参加。

2月：三宅正弘先生による「芦屋・阪神間モダニズムに見られる外国人との共創」73名参加。

3) 潮芦屋コンサート

3回開催した。

4月：アルカディア音楽芸術財団による「ソプラノ、フルート&ピアノ愛の調べ」94名参加。

8月：ワイキキ72とカイオロヒアによる「ハワイアンコンサート」110名参加。

12月：緑ゆみ子氏他による「クリスマス JAZZ コンサート」104名参加。

4) ACA かわらばん

春号、初秋号、新春号の3回を発行した。

収支改善のため、広告掲載料の協力を得ながら、紙面を見やすく、楽しめるようカラー化を継続した。各委員会から選任されたメンバーによる「かわらばん委員会」で掲載記事を検討し、原稿の校正等を行った。

5) 60周年記念事業

前身の姉妹都市協会から数えて60周年を迎えた記念として、総勢27名のACA

会員が総力を結集して作り上げた「作って食べよう世界の料理」のレシピ本を税込み 1100 円で 1500 冊を 3 月に発刊した。25 年に亘る料理教室から厳選した 40 か国 100 レシピと各委員会の活動を紹介する内容。

全国の手書店、インターネット書店（アマゾン、楽天ブックス、ほか）で販売。市内ではジュンク堂、宝盛館で平積み販売。

出版祝賀会を 3/5 にモノリスにて開催、40 名の出席。

6) さくらまつりでのバザー

「芦屋さくらまつり」が中止のため、バザー開催ができなかった。

7) ワールドフェスタ

「ミャンマーの日」と題して 3 月に開催、84 名参加。ミャンマー人による文化紹介と情勢についてのショートトーク、舞踊の披露、茶菓を提供した。また民芸品等を販売し、その売り上げは協力者のミャンマーレッドローズからミャンマー避難民へ寄付された。

8) 芦屋市役所展示ブースにて ACA 活動紹介

60 周年記念事業が中止となった為、市役所の展示コーナーを利用して姉妹都市交流事業をメインに ACA 全体の活動紹介を展示して市民に理解と認知を深める情報を提供した。期間は 3/7～3/29。実施したアンケートには、活動内容がよくわかり姉妹都市への関心が高まった、とのコメントがあった。

8、他団体の各種イベントでの共催について

- ・なし

9、各種イベントでの他団体への後援・協力・支援について

- ・「耕三の会」、「芦屋能 狂言鑑賞の会」後援
- ・「CID UNESCO Ashiya セクション 10 周年記念公演」(10/22) 後援
- ・潮見小学校町探検「潮芦屋交流センター案内」(11/15) 協力
- ・芦屋市主催「乳ガン健診実施」(2/4) 協力
- ・ウクライナ大使館へ 5 月と 7 月に一般からの募金 86,976 円を含む合計 15 万円の支援金を送金。
- ・「第 30 回日米草の根交流サミット」案内を ACA のインスタ掲載で協力。

10、総会、理事会、常任理事会、各種委員会の開催

- ・定例総会 (5/21) 1 回
- ・理事会 (5/21、3/5) 2 回

- ・常任理事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11回
- ・専門委員会の開催
 - 外国人支援委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11回
 - 国内事業委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10回
 - 国際事業委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11回

11、会員数（3/31 時点）

正会員	26名
賛助会員	202名
団体会員	1団体

12、物的サービスを受けたもののうち主なもの

- ・今年度はありません。

13、次期指定管理取得にむけて

- ・前回と同じコンサルティング会社（株式会社マーチ）と契約を結び、10月から始動した。

14、Instagramの活用

- ・イベント開催予告や活動を広く知ってもらうために、Instagramを11月からスタートした。

以上